

雨野さんの写真展と

——川越急ぎ旅

文化の日の11月3日に、電気34年卒の雨野さんが会長の写真集団・満月クラブを鑑賞してきました。

今回はカメラが大好きな幹事仲間も誘い、東上線霞ヶ関駅にある川越西文化会館まで出掛けました。

1時間ほどかけて出品作品を鑑賞しました。今回の作品の中には、既に本HP「会員の広場」で紹介しました「海ほたる」の作品も出品されていました。

鑑賞後は、雨野さんに無理をいい「川越」まで足を伸ばしました。

遅い昼食を食べに川越で老舗の鰻屋「いちのや」さんへ。店はまだ大混雑で1時間ぐらい待つ見込みなので、その時間を利用して川越を大急ぎで見物しました。

黒漆喰の壁、大きな鬼瓦、重厚な観音開きの扉と、ノスタルジックな風情を今に残す街・川越。川越は太田道灌が川越城を築城した後に江戸城を築城したことから、「江戸の母」とも呼ばれる江戸とは切っても切れない町。東京からほど近く魅力的です。

川越のシンボル「時の鐘」は、NHK連続テレビ小説(2009年放送、「つばさ」)の舞台になったことで、「川越踊り」と一緒に紹介され有名になりました。

まずは有名な「時の鐘」、その後は「漬物屋」、「豆屋」、「芋菓子店」、そして駄菓子屋横丁を覗きお土産を買って、「いちのや」へ戻って「うな重」を食べて帰ってきました。

川越氷川神社、喜多院など神社仏閣も多く、また駅伝で有名な東洋大、東邦音楽大、東京国際大などがある学園都市でもあります。小江戸・川越は江戸（東京）よりも江戸らしい川越、何度訪れても癒してくれる街。時間をかけゆっくり観光をしたいと思いました。

◆川越のシンボル・時の鐘



◆うな重



◆川越・小江戸の町並み

